

上渚滑小学校

学校農園活動と交楽会とのかかわり

上渚滑小学校では、毎年、学校の畑で野菜の栽培に取り組んでいます。

まず、全校児童が縦割り班に分かれ、班ごとに育てる野菜を決めることから始まります。今年は、じゃがいも、にんじん、かぼちゃ、たまねぎ、ピーマン、サツマイモなどを作ることにしました。

次に、種まきや苗植えです。このときには、地域のお年寄りの方々（交楽会）にもご協力いただき、子どもたちといっしょになって植え付けを行っていただいています。



苗植え

その後は収穫まで、定期的に作物の観察を行うとともに、草取りや間引き、土寄せなどの作業を続けていきます。ここでも交楽会の方々に、月に1回程度来校していただき、作業のお手伝いや子どもたちへの指導に当たっていただいています。

そして、秋には収穫した作物を使って班ごとに調理し、保護者や交楽会の方々を招いて収穫祭を開催します。今年は、9月30日に行い、カレーライスやハンバーグ、ポテトサラダ、



収穫

チャーハン、スイートポテトなど、子どもたちの手づくりの料理を味わっていただきました。このように、一連の活動を通して、子どもたちは、植物の生長のようすを知るとともに、育てる喜びを体験し、料理することで食に関する感謝の念と理解を深めることができるものと思います。

また、交楽会の方々には、1・2年の生活科の学習で、昔からの遊びを教してもらったり、地域行事などでもお世話になったりしているので、街の中で出会っても互いにあいさつをかわしています。



昔の遊び

沼ノ上小学校

最後まで地域とともに歩む

沼ノ上小学校は、明治36年6月に開校し、今年で107年目を迎えました。これまで幾多の有為な人材を輩出し、脈々とした伝統と歴史を有するとともに素晴らしい学校です。

しかし、近年の児童数の減少に伴い、たいへん残念ながら来年3月末を持ち閉校することとなりました。学校の最後の年となる今年度ですが、これまで同様に地域の皆さんに支えられつつ、地域とともに歩む教育活動を展開しています。

地域こそって参加の大運動会

五月晴れの素晴らしい天候のもと、地域連合会の皆さんにもご支援いただき、大勢の皆さんの参加協力を得て大運動会を行いました。

地域の特色を生かした種目や伝統的な種目、親子競技や児童種目はとてもにぎやかで、笑顔がほころぶにこやかな運動会となりました。

競技終了後は、皆さんで炭火を囲んでおいしい昼食を取り、閉会となりました。



地域行事へ参加協力

今年も、地域の盆踊りや秋祭り、敬老会には子どもたちはこぞって参加しました。やぐらを囲んで踊る子ども盆踊り、元気に「ワッショイ」の掛け声をかけ市街地を練り歩く子どもみこし、敬老会参加者の前で「ドッコイショ」と大きな声を出し踊るよさこいソーランと、地域の行事にも積極的に参加する子ども達です。とても頼もしく思います。



地域の皆さんも授業参観

毎年4月と12月には、参観日を「学校公開日」として地域の皆さん方にも来校していただいています。

子ども達の授業参観、全校での給食試食会等、日頃の学校生活の様子を知っていただく良い機会となっています。自分のお孫さん同様にあたたかい眼差しで参観していただき、たいへん感謝しています。



他にも、地域の自然や産業等を学ぶ体験的学習では、地域の皆さんにもお手伝いいただき、子どもたちは学習を深めています。「学びいっぱい」「心いきいき」「生命すこやか」な学校として、来年3月までがんばります。

まちの出来事



交通事故抑制を目指す 秋の全国交通安全運動

9/17

紋別市交通安全運動推進協議会は9月17日、交通事故抑制を目指す総決起集会を文化会館で開催しました。

「高齢者の事故が増えており、抑制には日常的な交通安全運動が望まれる」と決意を新たにされたほか、出席した約110人全員で市民会館前の市道新市街基線に移動し、黄色い交通安全旗で通行車両に安全



秋の全国交通安全運動総決起集会

運動を呼びかける啓発活動も行いました。



地域福祉、みんなで参画 第64回赤い羽根共同募金

10/1

充実した地域福祉やボランティア活動を支える第64回赤い羽根共同募金が10月1日、スローガン「地域福祉、みんなで参加」をかかげて全国一斉にスタートしました。

紋別市共同募金会でも街頭募金や町内会・事業所の協力による募金活動をスタート。

「募金額の6割は地元で役立てられます。残り4割は全道で集約して、福祉車両の配分などに充てられます。皆様のご協力をぜひとも宜しくお願ひします」と善意の協力を求めました。

赤い羽根共同募金は各種募金の中でも歳末助け合い運動と並んで最も知られた募金活動の1つ。寄付金は、安心して暮らせるまちづくりを目指



味覚・収穫の秋 第17回もんべつグルメまつり

10/9

紋別地方の優れた食材をアピールする秋の代表的なイベント「第17回もんべつグルメまつり」が10月9日、オホーツク氷紋の駅駐車場の特設会場で開催されました。

水産物、農産物、加工品など21業者が出店したほか、氷紋の駅でも協賛事業「テント村」を開催。初日午前中は絶好の秋晴れにも恵まれ、市内外から訪れた多くの人でにぎわいました。

会場には紋別地方を代表する海の幸・山の幸を取り揃えた店舗が並び、その中央には炭火焼きコーナー（大型テン



ト）が設置され、新鮮な魚介類をその場で焼いて味わいました。



し、地域の福祉活動やボランティア活動の普及・振興、障がい者の社会自立支援などに役立てられます。昨年はNPO法人つばさの会に、全道で集めた4割分から福祉車両が寄贈されました。



住民参加による住みよい街づくり 第35回紋別市住民福祉大会

10/17

「住民参加による住みよい街づくり」を考え合おうと第35回紋別市住民福祉大会が10月17日、市民会館で開催されました。

市民約182人が参加し、市在住の14人による「ふるさと紋別を考える」をテーマに意見交換会が行われました。

今年是他地域からの移住者や転勤族7人と地元市民7人がパネラーになり意見交換を行うという初の試みで、高校生、主婦、公務員、会社員、経営者など多彩な顔ぶれが、紋別の自然、生活、物価、人



柄、ボランティアなどをテーマに意見を交換し合いました。